

平成27年度「未来きらりプログラム」仮想プロジェクトについて

1 仮想プロジェクトの目的

新商品等開発等の仮想課題に対して、アイデア出しからマーケティング調査、企画立案、プレゼンテーションまで、実際の手順を追って企画立案のノウハウを習得する。

2 仮想プロジェクトのテーマ

「恐竜を活用したビジネスプラン」

○ビジネス例

恐竜キャラクターグッズ、玩具、お土産（食品）、
恐竜をテーマとしたゲーム・出版・映画、新たな観光プラン 等

○恐竜ビジネスの課題

- ・ターゲットの範囲が狭い。（年齢層：幼稚園児～小学校3・4年生、性別：男性）
- ・お土産物としては購入しても、自分が日常的に使うものとして購入する人は少ない
- ・福井駅⇄恐竜博物館は人気があるが、周遊性が低い

3 仮想プロジェクトの講義日程等

- ・5グループ（6～7名）のグループに分かれ、最終のプレゼン発表を含め、6回シリーズの講義で一つの企画立案を完成させる。

	日時	講義テーマ・講師	講義内容	講義後のグループワーク
1	10/2	「プレゼンテーションの進め方」 講師：(株)電通 林信貴	・企画とは何か ・チームで企画提案する際のポイント ・実現性の高い企画提案のために	・グループ内の役割分担 ・スケジュール確認
2	10/27	「アイデア発想方法」 講師：(一社)日本経営協会 専任講師 加藤奈穂子	・アイデアづくりの手法 ・アイデア先行の企画立案	・アイデア出し ・企画概要(案)の決定 ・(必要に応じて)関係事業者等への取材
3	11/10	「マーケティング」 講師：同上	・マーケティングの基礎 ・データ分析の手法 ・戦略の立て方 (中間発表)	・データ収集 ・企画提案内容の決定 ・事前発表用PPT作成 (県担当課との意見交換)
4	12/15	「プレゼンテーション技術」 講師：同上	・論理的な内容構成 ・分かりやすい話し方 ・プレゼン事前発表	・PPT資料追加 ・発表原稿作成
5	1/19	「プレゼンテーション実践」 講師：同上	・プレゼンリハーサル ・意見交換	・資料・原稿の調整
6	2/26	「ビジネスプラン発表会」 講評：(株)電通 林信貴	・プレゼン発表 ・参加企業の担当者による審査	

<参考：過去の仮想課題テーマ>

- 24年度 福井県の新たな観光プラン（講師：県観光連盟 観光プロデューサー 中本秀史氏）
- 25年度 越前和紙を使ったビジネスプラン（講師：越前女紙倶楽部 代表 石川靖代氏）
- 26年度 里芋を使ったビジネスプラン（講師：県食品加工研究所 小林所長）